

2023年度(2024年3月期) 第1四半期 決算説明会

2023年 7月 28日
セイコーエプソン株式会社

■ 将来見通しに係わる記述についての注意事項

- 本説明資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、公表時点で入手可能な情報に基づく将来の予測であり、潜在的なリスクや不確定要素を含んだものです。そのため、実際の業績はさまざまな要素により、記載された見通しと大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる要素としては、日本および海外の経済情勢、市場におけるエプソンの新製品・新サービスの開発・提供とそれらに対する需要の動向、価格競争を含む他社との競合、テクノロジーの変化、為替の変動などが含まれます。
なお、業績などに影響を与えうる要素は、これらに限定されるものではありません。

■ 事業利益について

- 事業利益は、売上収益から 売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しています。連結包括利益計算書上に定義されていない指標であるものの、日本基準の営業利益とほぼ同じ概念であることから、連結財務諸表の利用者がエプソンの業績を評価する上でも有用な情報であると判断し、追加的に開示しています。

■ 本説明資料における表示方法

- 数値：表示単位未満を切り捨て
- 比率：円単位で計算後、表示単位の一桁下位を四捨五入
- 年度：断りが無い限り、会計年度を示す

- ご説明のポイント
- 第1四半期実績
- 2023年度通期業績予想・株主還元など
- 企業価値向上に向けた方針・施策

■ 第1四半期実績(前年同期比)

売上収益 3,148億円(増収)、事業利益 155億円(減益)

- プリンティングソリューションズ及びビジュアルコミュニケーションは、供給制約の改善や為替影響により増収増益
- マニュファクチャリング関連・ウェアラブルは、マイクロデバイス市場の在庫調整による数量減少などで減収減益

■ 2023年度 通期業績予想(4/28前回予想比)

売上収益 13,800億円(上方修正)、事業利益 1,000億円(据え置き)

- インフレなどによる買い控え、投資抑制により需要は想定よりも厳しい、マイクロデバイスでは市場の在庫調整の遅れも反映
- 収益性にこだわりメリハリをつけた費用投下を実施
- 円安によるプラス影響も反映

- ご説明のポイント
- **第1四半期実績**
- 2023年度通期業績予想・株主還元など
- 企業価値向上に向けた方針・施策

(億円)	2022年度		2023年度		対前年同期	
	Q1実績	%	Q1実績	%	増減額	増減率
売上収益	2,978		3,148		+169	+5.7%
事業利益	226	7.6%	155	5.0%	-70	-31.1%
営業利益	312	10.5%	197	6.3%	-115	-36.8%
税引前利益	370	12.4%	282	9.0%	-87	-23.7%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	266	9.0%	201	6.4%	-64	-24.3%
EPS*1(円)	77.10		60.90			
為替レート (円、指数)	USD	¥129.64	¥137.18			
	EUR	¥138.11	¥149.40			
	その他通貨*2	100	103			

■ 営業利益・税引前利益

- 円安進行による為替差益(その他の営業収益)が前年同期に対して減少
- 円安進行による為替差益(金融収益)が前年同期に対して増加

*1 EPS: 基本的1株当たり当期利益

*2 その他通貨の各レートを為替ボリュームに応じて加重平均した値について、前年同期を100とした指数

為替影響額 (億円)	USD	EUR	その他通貨 合計	合計
売上収益	+55	+37	+23	+116
事業利益	-11	+22	+14	+25

プリンティングソリューションズ	2022年度 Q1実績		2023年度 Q1実績		(億円)	
	売上収益	セグメント利益	セグメント利益率	増減額	内為替影響額	増減率
プリンティングソリューションズ	1,976	210	10.7%	+174	+81	+8.8%
セグメント利益		223		+12	+13	+6.0%
セグメント利益率		10.4%				

オフィス・ホームプリンティング	2022年度 Q1実績		2023年度 Q1実績		(億円)	
	売上収益	事業利益	事業利益率	増減額	内為替影響額	増減率
オフィス・ホームプリンティング	1,431	164	11.5%	+66	+57	+4.7%
売上収益	1,431	126	8.4%	+14	+57	+1.3%
オフィス・ホームIJP(SOHO・ホームIJP)*1	1,127	164		+14	+57	+1.3%
オフィス・ホームIJP(オフィス共有IJP)*2	137	126		+38		+28.3%
その他*3	166	179		+13		+8.1%
事業利益		126		-38	+4	-23.3%
事業利益率		8.4%				

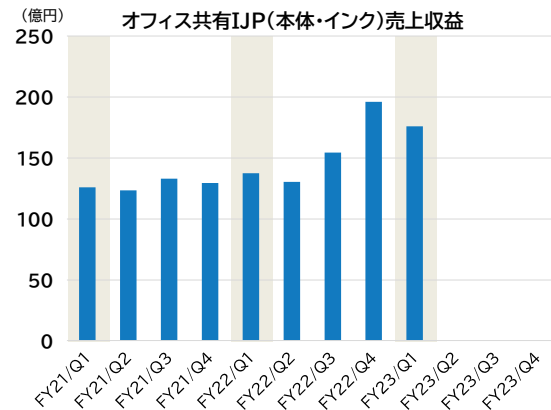
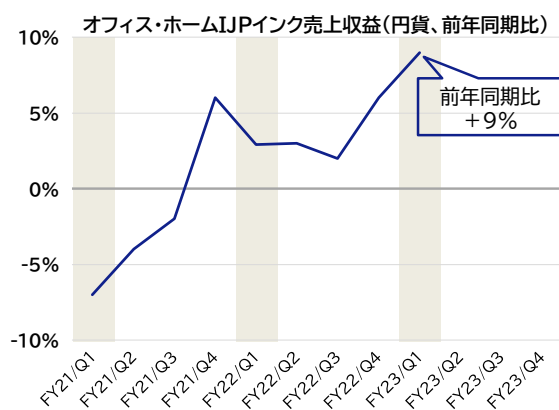
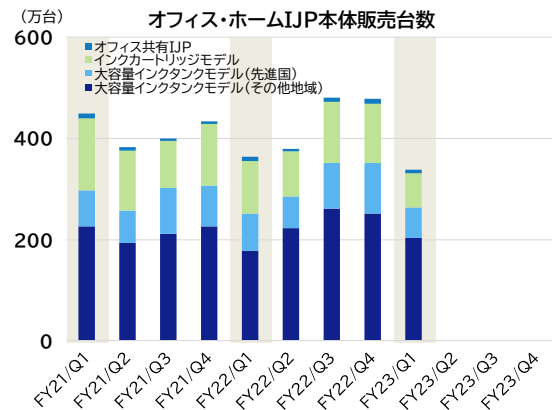
*1:IJモデル-大容量インクタンクモデル本体、インクなど *2:I/Cモデル-RIPS-LJ本体、インクなど *3:スキャナー、SIDM、LP、乾式オフィス製紙機など

■ プリンティングソリューションズ

- 商業・産業プリンティングを中心に販売増加
- 為替影響もあり増収増益

■ オフィス・ホームプリンティング

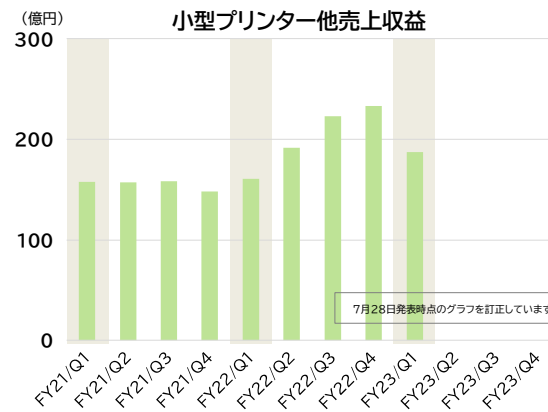
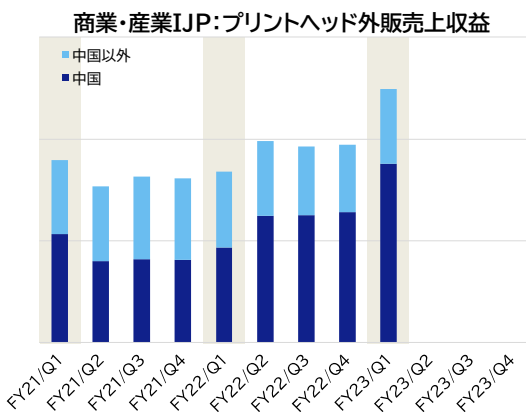
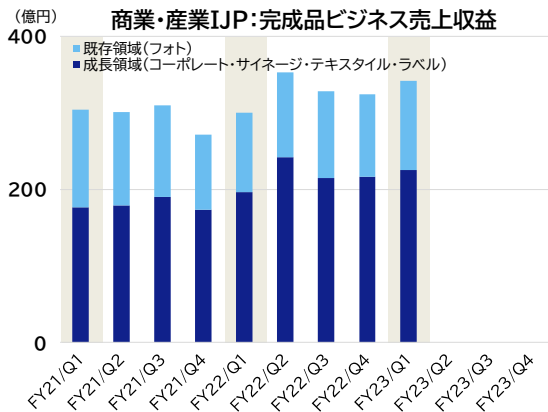
- IJP本体の販売数量は-7%、モデルミックス改善と為替によるプラス影響で本体売上は前年同期並み
- IJPインク売上は、大容量インクタンクモデル本体の市場稼働台数増加などにより+9%(現地通貨ベース+5%)、
- うちオフィス共有IJPは、中速帯新製品の販売伸長や本体の供給制約改善、インク販売増加により増収
- 事業活動の本格化に伴う販管費などの増加により減益



商業・産業プリンティング	2023年度 Q1実績		2022年度 Q1実績		増減率	
	2023年度 Q1実績	2022年度 Q1実績	増減額	内為替影響額	増減率	
売上収益	545	653	+108	+24	+19.9%	
商業・産業IJP	384	466	+81		+21.3%	
小型プリンター他	160	187	+26		+16.5%	
事業利益	46	97	+50	+9	+110.4%	
事業利益率	8.5%	14.9%				

■ 商業・産業プリンティング

- 商業・産業プリンティングは、供給制約があった前年同期と比較して販売伸長
- 商業・産業IJP完成品ビジネスは、サインージなど成長領域中心に売上伸長
- プリントヘッド外販ビジネスは、中国の印刷機メーカーへの販売が増加
- 小型プリンター他も増収
- 事業利益は増収により増益



ビジュアルコミュニケーション	(億円)				
	2022年度 Q1実績	2023年度 Q1実績	増減額	内為替 影響額	増減率
売上収益	456	529	+72	+22	+15.9%
セグメント利益	64	67	+3	+8	+5.9%
セグメント利益率	14.0%	12.8%			

◆ プロジェクターの販売動向*1

	2022年度 Q1実績	2023年度 Q1実績
売上収益(円貨)	+13%	+17%
売上収益(現地通貨)	+0%	+12%
販売台数	-3%	+4%

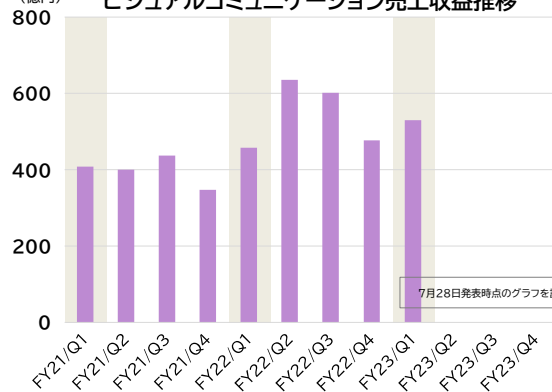
*1 社内管理値に基づく指標
伸長率は前年同期比

マニファクチャリング関連 ・ウェアラブル	(億円)				
	2022年度 Q1実績	2023年度 Q1実績	増減額	内為替 影響額	増減率
売上収益	560	473	-86	+13	-15.4%
マニファクチャリングソリューションズ	90	69	-20		-23.0%
ウェアラブル機器	102	88	-14		-13.7%
マイクロデバイス他	334	277	-57		-17.1%
PC	42	46	+3		+9.0%
事業間売上収益	-9	-8	+1		-
セグメント利益	86	7	-78	+3	-90.8%
セグメント利益率	15.4%	1.7%			

■ ビジュアルコミュニケーション

- ・ プロジェクター市場は教育向けを中心に需要は堅調
- ・ 数量増加、モデルミックス改善や為替影響により増収増益
(前年同期には在庫増加による利益の押し上げ影響)

(億円) ビジュアルコミュニケーション売上収益推移



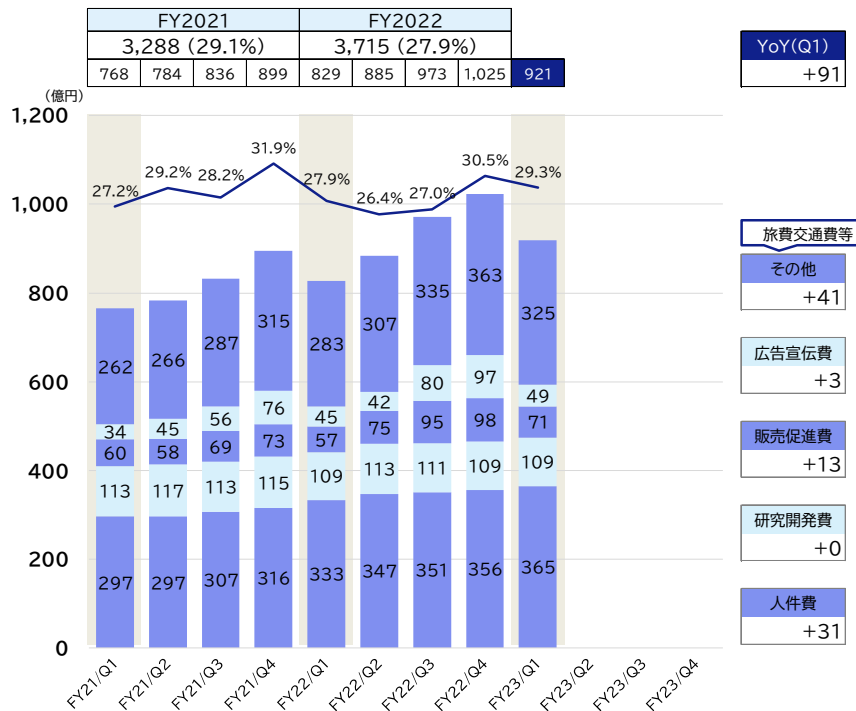
7月28日発表時点のグラフを訂正しています

■ マニファクチャリング関連・ウェアラブル

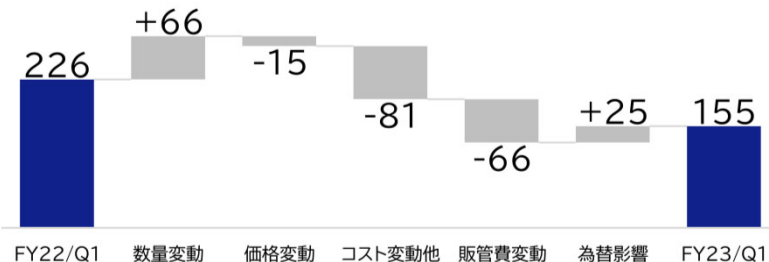
- ・ マニファクチャリングソリューションズは中国向けが販売減
- ・ ウェアラブル機器は市場が軟調に推移
- ・ マイクロデバイス他は、水晶デバイスが市場の在庫調整により販売数量減少
- ・ セグメント利益は減収影響などにより減益

販管費変動：為替影響(+24億円)、事業活動本格化に伴う費用増

販売費及び一般管理費推移



事業利益の変動要因 (億円)



数量変動

- + オフィス・ホームIJP(本体及びインク)、商業・産業IJP(完成品及びプリントヘッド)、小型プリンター、プロジェクターなど
- 水晶デバイス、ウォッチ、ロボットなど

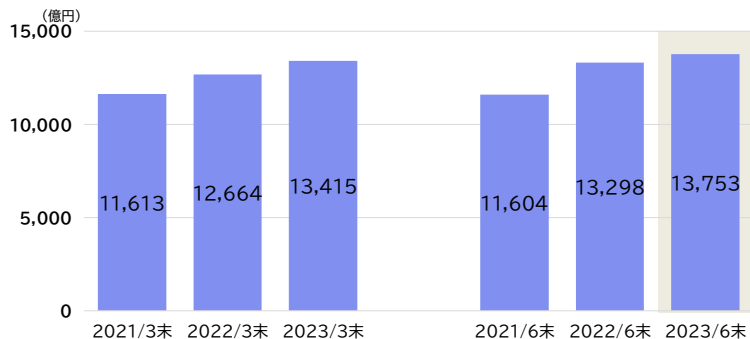
価格変動

- + プロジェクターなど
- オフィス・ホームIJP(本体)など

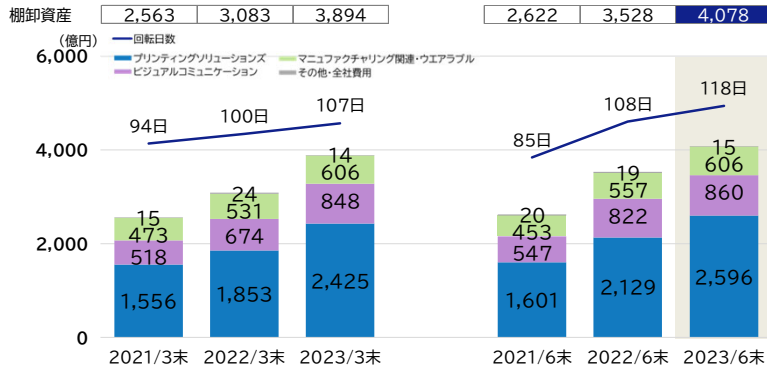
コスト変動他

- 人件費、光熱費、在庫影響など

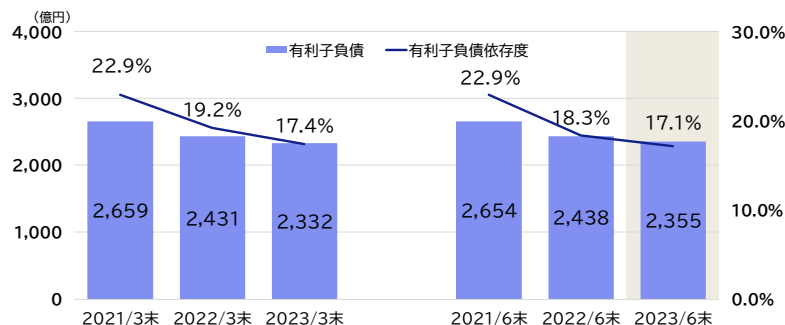
資産合計



棚卸資産・回転日数



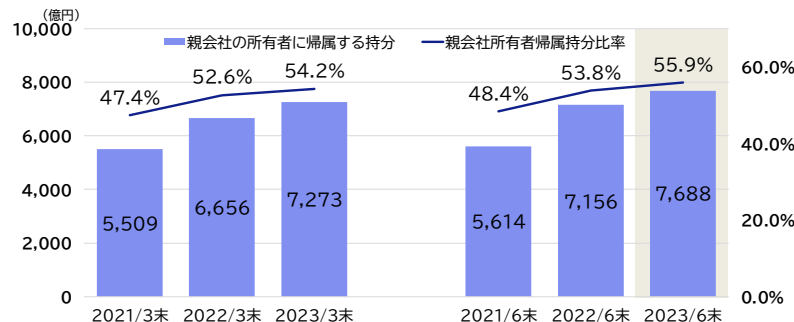
有利子負債・有利子負債依存度



ネットキャッシュ



親会社の所有者に帰属する持分・親会社所有者持分比率



*回転日数(3月末) = 連結会計期間末棚卸資産残高 / 連結会計期間末直前12ヶ月間の1日当たり売上収益
 *回転日数(6月末) = 連結会計期間末棚卸資産残高 / 連結会計期間末直前3ヶ月間の1日当たり売上収益

- ご説明のポイント
- 第1四半期実績
- **2023年度通期業績予想・株主還元など**
- 企業価値向上に向けた方針・施策

(億円)	2022年度		2023年度				増減額/増減率	
	実績	%	4/28予想	%	7/28予想	%	対前期	対4/28予想
売上収益	13,303		13,600		13,800		+496 +3.7%	+200 +1.5%
事業利益	951	7.1%	1,000	7.4%	1,000	7.2%	+48 +5.1%	— —
営業利益	970	7.3%	940	6.9%	960	7.0%	-10 -1.1%	+20 +2.1%
税引前利益	1,037	7.8%	920	6.8%	1,010	7.3%	-27 -2.7%	+90 +9.8%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	750	5.6%	660	4.9%	720	5.2%	-30 -4.0%	+60 +9.1%
EPS*1(円)	220.75		199.09		217.18			
為替レート (円、指数)	USD	¥135.44	¥129.00		¥137.00			
	EUR	¥140.90	¥142.00		¥153.00			
	その他通貨*2	100	97		103			

- 営業利益・税引前利益
 - 為替前提の変更に伴い、為替差損益を見直し

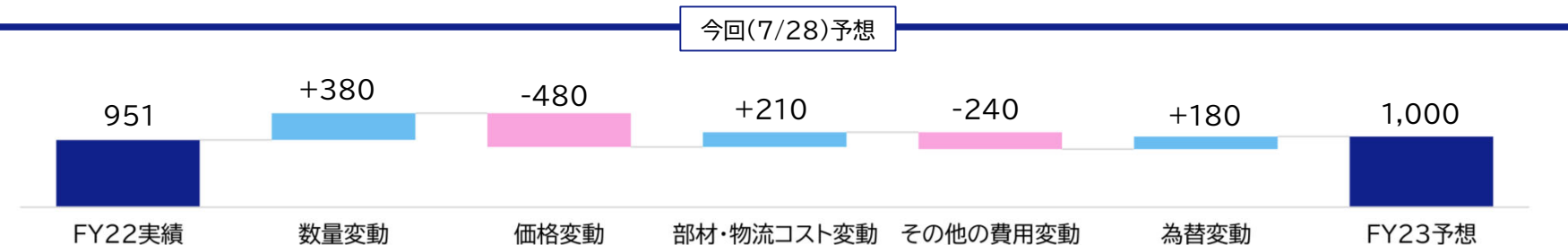
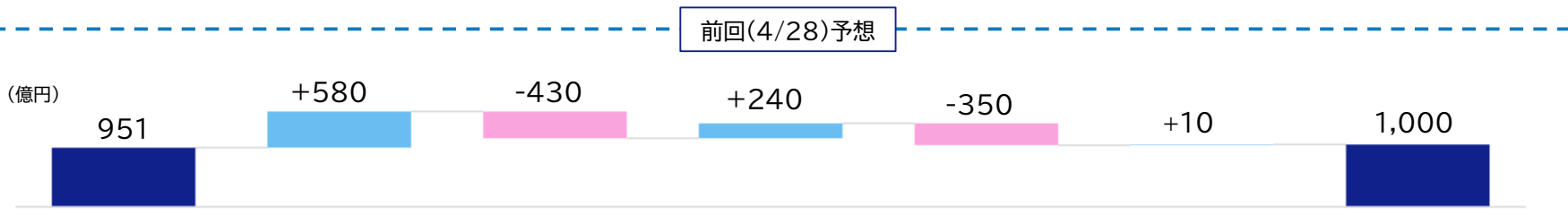
*1 EPS：基本的1株当たり当期利益
 *2 その他通貨の各レートを為替ボリュームに応じて加重平均した値について、前期を100とした指数
 *3 USD/EURは1円の円高による年間影響額(億円)、その他通貨は1%の円高による年間影響額(億円)

為替感応度*3 (億円)	USD	EUR	その他通貨 合計	年間為替 影響額見込み
売上収益	-33	-15	-42	+310
事業利益	+9	-9	-18	+180

第2四半期以降の 為替前提(円)	USD	137.00
	EUR	154.00

事業利益の増減要因(前回予想からの変化)

- 足元の事業環境は、インフレなどによる買い控え、投資抑制が想定以上に厳しい。マイクロデバイスでは市場在庫の調整が当初の見込みよりも遅れ
- 販売価格は、利益の最大化に向けて外部環境を踏まえた柔軟な対応を継続
- メリハリをつけた費用投下を継続し、コスト増加を抑制
- 円安によるプラス影響



(億円)

プリンティングソリューションズ	2022年度 実績	2023年度 4/28予想	2023年度 今回予想	対前期 増減額	対前期 増減率	対4/28 予想
売上収益	9,023	9,340	9,580	+556	+6.2%	+240
セグメント利益	893	1,080	1,150	+256	+28.8%	+70
セグメント利益率	9.9%	11.6%	12.0%			

オフィス・ホームプリンティング	2022年度 実績	2023年度 4/28予想	2023年度 今回予想	対前期 増減額	対前期 増減率	対4/28 予想
売上収益	6,534	6,600	6,800	+265	+4.1%	+200
オフィス・ホームIJP(SOHO・ホームIJP) ^{*1}	5,199	5,010	5,200	+0	+0.0%	+190
オフィス・ホームIJP(オフィス共有IJP) ^{*2}	617	880	870	+252	+40.8%	-10
その他 ^{*3}	717	710	730	+12	+1.7%	+20
事業利益	546	620	680	+133	+24.5%	+60
事業利益率	8.4%	9.4%	10.0%			

*1:I/Cモデル・大容量インクタンクモデル本体、インクなど *2:I/Cモデル・RIPS-LJ本体、インクなど *3:スキャナー、SIDM、LP、乾式オフィス製紙機など

商業・産業プリンティング	2022年度 実績	2023年度 4/28予想	2023年度 今回予想	対前期 増減額	対前期 増減率	対4/28 予想
売上収益	2,489	2,740	2,780	+290	+11.7%	+40
商業・産業IJP	1,681	1,880	1,940	+258	+15.4%	+60
小型プリンター他	807	860	840	+32	+4.0%	-20
事業利益	346	460	470	+123	+35.5%	+10
事業利益率	13.9%	16.8%	16.9%			

■ オフィス・ホームプリンティング

- IJP本体の販売台数は上期を中心に見直し
- オフィス共有IJPは、市場が低調なものの、環境・メンテナンス性能などインクジェットの特長訴求を継続
- インク売上は、為替影響などを反映し前年度から2%増加

◆ 販売動向 (社内管理値に基づく指標)		FY22 実績	FY23 4/28予想	FY23 今回予想
オフィス・ホームIJP 本体販売数量	伸長率	+2%	+7%	+2%
	約、万台	1,700	1,830	1,730
内 SOHO・ホーム向け 大容量インクタンクモデル		1,240	1,400	1,330
内 SOHO・ホーム向け I/Cモデル		430	390	360
内 オフィス共有IJP		30	40	40
オフィス・ホームIJP インク売上収益伸長率	(円貨)	+3%	-2%	+2%
	(現地通貨)	-7%		

■ 商業・産業プリンティング

- 完成品ビジネスは景気動向や金利高による投資抑制の影響を受ける一方、プリントヘッド外販は中国向けを中心に好調
- 小型プリンターは欧米の需要予測を見直し

ビジュアルコミュニケーション	(億円)					
	2022年度 実績	2023年度 4/28予想	2023年度 今回予想	対前期 増減額	対前期 増減率	対4/28 予想
売上収益	2,168	2,130	2,270	+101	+4.7%	+140
セグメント利益	348	310	380	+31	+8.9%	+70
セグメント利益率	16.1%	14.6%	16.7%			

■ ビジュアルコミュニケーション

- 教育向けを中心に需要は堅調
- 高光束モデルの伸長などによるモデルミックス改善に加え、円安によるプラス影響

◆ プロジェクターの販売動向^{*1}

	2022年度 実績	2023年度 4/28予想	2023年度 今回予想
販売台数(約、万台)	190	200	200
伸長率	+10%	+5%	+5%

^{*1} 社内管理値に基づく指標
伸長率は前年同期比

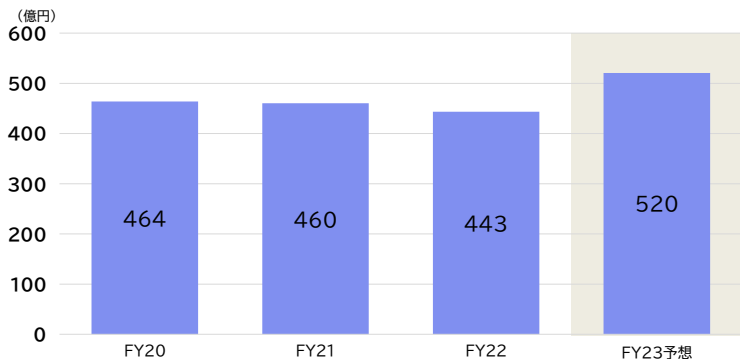
マニファクチャリング関連 ・ウェアラブル	(億円)					
	2022年度 実績	2023年度 4/28予想	2023年度 今回予想	対前期 増減額	対前期 増減率	対4/28 予想
売上収益	2,154	2,160	1,980	-174	-8.1%	-180
マニファクチャリングソリューションズ	305	290	270	-35	-11.6%	-20
ウェアラブル機器	358	340	350	-8	-2.5%	+10
マイクロデバイス他	1,307	1,330	1,170	-137	-10.5%	-160
PC	219	220	220	+0	+0.4%	-
事業間売上収益	-36	-20	-30	+6	-	-10
セグメント利益	283	220	90	-193	-68.2%	-130
セグメント利益率	13.1%	10.2%	4.5%			

■ マニファクチャリング関連・ウェアラブル

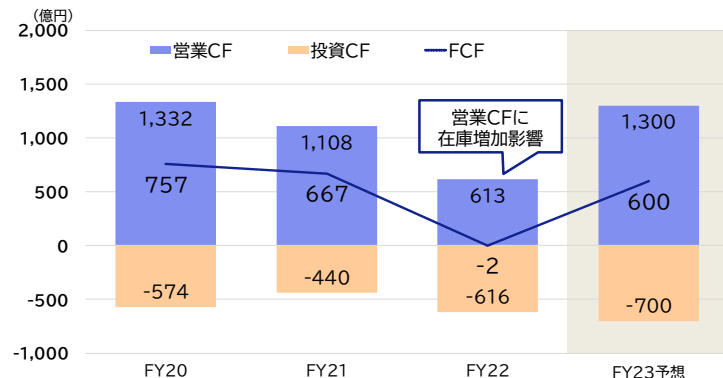
- マニファクチャリングソリューションズは、中国向けビジネスが軟調なことに加え、欧米での投資抑制の影響を反映
- ウェアラブル機器は、前提に大きな変化なし
- マイクロデバイス他は、市場在庫調整に遅れ

2023年度 通期業績予想 | 主要費用、フリー・キャッシュ・フロー、経営指標 EPSON

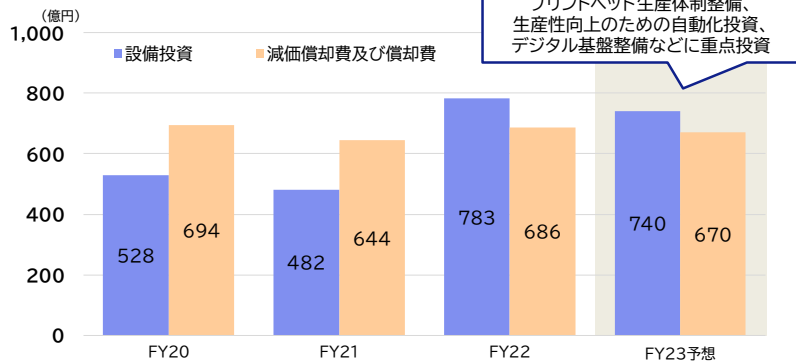
研究開発費



フリー・キャッシュ・フロー



設備投資・減価償却費及び償却費



主要経営指標	FY20実績	FY21実績	FY22実績	FY23予想	FY25目標
為替レート:USD	106.01	112.37	135.44	137.00	-
為替レート:EUR	123.67	130.55	140.90	153.00	-
売上収益 (億円)	9,959	11,289	13,303	13,800	-
事業利益 (億円)	616	896	951	1,000	-
親会社の所有者に帰属する当期利益 (億円)	309	922	750	720	-
ROS ^{*1}	6.2	7.9	7.1	7.2%	10%以上
ROA ^{*2}	5.6	7.4	7.3	7.3%	-
ROE ^{*3}	5.9	15.2	10.8	9.5%	13%以上
ROIC ^{*4}	5.6	7.3	7.1	7.2%	11%以上

- *1 売上収益事業利益率=事業利益/売上収益
 *2 資産合計事業利益率=事業利益/期首・期末資産合計平均
 *3 親会社所有者帰属持分当期利益率=親会社の所有者に帰属する当期利益/期首・期末親会社の所有者に帰属する持分平均
 *4 投下資本利益率=税引後事業利益/(親会社の所有者に帰属する持分+有利子負債)
 税引後事業利益は、事業利益から実効税率相当額を控除した金額
 親会社の所有者に帰属する持分および有利子負債は期首・期末平均
- Epson 25 Renewed 目標値

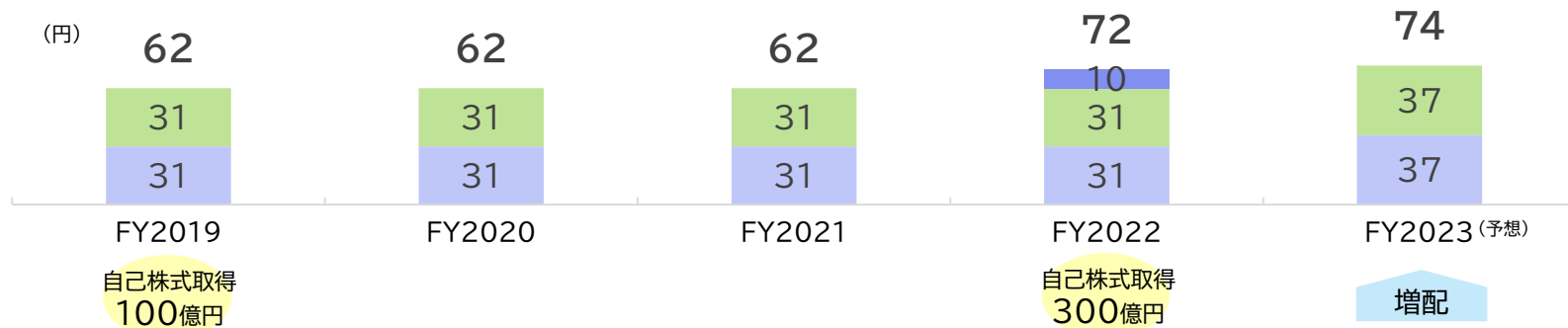
■ 基本方針

- 成長戦略に基づく投資を行ったうえで、積極的な利益還元に取り組む
 - ✓ 配当：中期的には連結配当性向* 40%程度を目標に、安定的な配当を継続
*事業利益から法定実効税率相当額を控除した額を元に算出
 - ✓ 自己株式取得：株価水準や資金の状況などを総合的に勘案し、必要に応じて機動的に実施

■ 配当実績・予想

- 2022年度の1株当たり年間配当は、記念配当10円を加えた72円
- 2023年度の1株当たり年間配当は、普通配当が12円増配となる**74円**を予定

■ 中間配当 ■ 期末配当 ■ 記念配当(期末)



ESG インデックス 組み入れ・ 格付け

- FTSE4Good Index Series
- FTSE Blossom Japan Index
- FTSE Blossom Japan Sector Relative Index
- MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数
- MSCI日本株女性活躍指数 (WIN)
- S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数
- Morningstar Japan ex-REIT Gender Diversity Tilt Index
- SOMPOサステナビリティ・インデックス
- CDP企業調査「Aリスト」企業 (分野:気候変動)
- CDP「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー・ボード」
- EcoVadis社のサステナビリティ評価「プラチナ」
- 日本政策投資銀行(DBJ)環境格付け融資「ランクA」
- RBA*1監査の最高位プラチナ認定を海外主力工場で取得 (フィリピン・インドネシア・マレーシア)で取得 :2022年
- 令和4年度新エネ大賞「新エネルギー財団会長賞」(地域共生部門) :2023年2月
- 第4回ESGファイナンス・アワード・ジャパン 環境サステナブル企業部門「銅賞」:2023年2月
- 健康経営銘柄2023*2 :2023年3月
- 日経225 :2017年から選定

ESG 関連表彰・ 銘柄選定 など

GPIFが採用する ESG国内指数6件全てに選定



FTSE Blossom
Japan



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index

2022 CONSTITUENT MSCIジャパン
ESGセレクト・リーダーズ指数

2022 CONSTITUENT MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)



S&P/JPX
カーボン
エフィシエント
指数



MORNINGSTAR GenDi J
Japan ex-REIT Gender Diversity
Tilt Index

*1 The Responsible Business Alliance、世界最大級のCSR推進企業同盟

*2 健康経営の目的・体制
<https://corporate.epson/ja/sustainability/our-people/health-and-productivity.html>

- ご説明のポイント
- 第1四半期実績
- 2023年度通期業績予想・株主還元など
- **企業価値向上に向けた方針・施策**

- Epson 25 Renewedに基づき、資本収益性および成長期待を向上させる



- エクイティ・スプレッド(ROE－株主資本コスト)の改善に向けて収益性と資本効率を向上させる

収益性を重視した経営

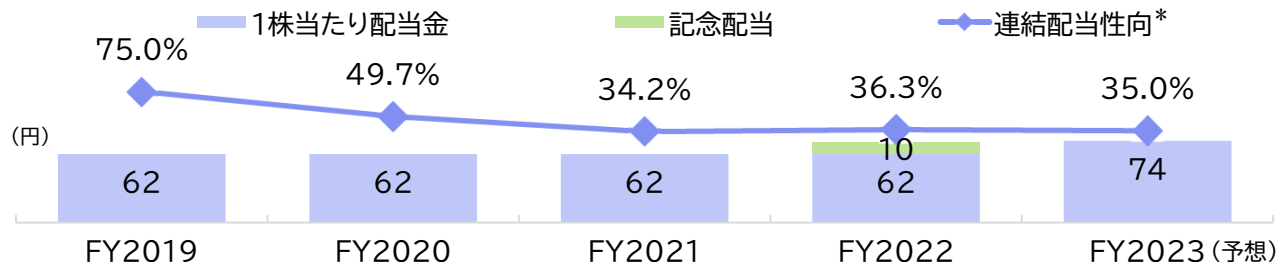
- 過度な売上追求から脱し、利益創出を重視
- 事業ポートフォリオに応じたメリハリのある費用投下

投下資本の効率化

- 事業ポートフォリオ管理による効率的資金循環
- 棚卸資産削減によるCCC改善
- 事業の管理指標にROICを導入・試行

積極的な株主還元

- 成長戦略に基づく投資を行ったうえで、積極的な利益還元に取り組む
 - ✓ 配当：中期的には連結配当性向*40%程度を目標に、安定的な配当を継続
 - ✓ 自己株式取得：株価水準や資金の状況などを総合的に勘案し、必要に応じて機動的に実施



*事業利益から法定実効税率相当額を控除した額を元に算出

- 独自性・優位性のある戦略を遂行・訴求することにより成長期待を醸成・向上させる
- 次なる収益の柱を育てるため、成長領域・新領域への投資を継続する

独自性・優位性のある戦略の遂行・訴求 / 成長領域・新領域への投資

- 社会課題の解決と事業成長を両立

オフィス・ホームプリンティングイノベーション

印刷の分散化への対応、
環境負荷低減・生産性向上を実現



商業・産業プリンティングイノベーション

印刷のデジタル化を主導し
環境負荷低減・生産性向上を実現



マニュファクチャリングイノベーション

生産性・柔軟性が高い生産システムによる
ものづくりの革新



ビジュアルイノベーション

人・モノ・情報・サービスをつなぎ
「学び・働き・暮らし」を支援



- 共創による新領域の加速
独創の技術をコアにさまざまな分野でパートナーと
共に新たな価値を創出

プリントヘッドの応用

プリントヘッド外販に留まらず、
素材・装置メーカーや大学・研究機関、
自治体といった産学官の連携をインクジェットにより促進



ドライファイバーテクノロジーの応用

紙だけでなく、使用済みの衣服もアップサイクルするなど、
持続可能なファッション業界の未来に向けた取り組みも加速

協業・オープンイノベーション

ロボティクス、AIなど多岐にわたる分野に出資

- 投資家などとの対話により、持続的に企業価値を向上させる



EPSON

補足資料

主要製品の販売動向

			FY2022 Q1実績	FY2022 Q2実績	FY2022 Q3実績	FY2022 Q4実績	FY2022 通期 実績	FY2023 Q1実績	FY2023 通期 予想	
*社内管理値に基づく指標 伸長率は前年同期比			USD	129.64	138.30	141.55	132.28	135.44	137.18	
			EUR	138.11	139.28	144.23	141.97	140.90	153.00	
オフィス・ホーム プリンティング	オフィス・ホーム IJP 本体	売上収益(円貨)	伸長率	+9%	+31%	+42%	+26%	+27%	+1%	+6%
		売上収益(現地通貨)	伸長率	-4%	+12%	+23%	+15%	+12%	-3%	
		本体数量	伸長率	-19%	-1%	+20%	+10%	+2%	-7%	+2%
		本体数量	万台					約1,700		約1,730
		内 大容量インクタンクモデル	万台					約1,240		約1,330
		内 SOHO・ホーム向けI/Cモデル	万台					約430		約360
		内 オフィス共有IJP	万台					約30		約40
	オフィス・ホーム IJP インク	インク売上収益比率 インク÷(本体+インク)	構成比					36%		35%
		売上収益(円貨)	伸長率	+3%	+3%	+2%	+6%	+3%	+9%	+2%
		売上収益(現地通貨)	伸長率	-6%	-9%	-8%	-2%	-7%	+5%	
ビジュアル コミュニケーション	プロジェクター 本体	売上収益(円貨)	伸長率	+13%	+60%	+40%	+40%	+38%	+17%	+5%
		売上収益(現地通貨)	伸長率	+0%	+37%	+21%	+28%	+21%	+12%	
		本体数量	伸長率	-3%	+22%	+4%	+19%	+10%	+4%	+5%
		本体数量	万台					約190		約200

財務データ(2022年度・2023年度)

EPSON

		(億円)										
		FY2022 Q1 実績	FY2022 Q2 実績	FY2022 Q3 実績	FY2022 Q4 実績	FY2022 通期 実績	FY2023 Q1 実績	FY2023 Q2 実績	FY2023 Q3 実績	FY2023 Q4 実績	FY2023 通期 予想	
為替レート (円)	USD	129.64	138.30	141.55	132.28	135.44	137.18				137.00	
	EUR	138.11	139.28	144.23	141.97	140.90	149.40				153.00	
プリンティングソリューションズ	売上収益	1,976	2,155	2,490	2,401	9,023	2,151				9,580	
	セグメント利益	210	186	273	222	893	223				1,150	
	オフィス・ホームプリンティング	売上収益	1,431	1,511	1,844	1,746	6,534	1,498				6,800
		事業利益	164	101	173	107	546	126				680
	商業・産業プリンティング	売上収益	545	643	646	653	2,489	653				2,780
		事業利益	46	85	100	115	346	97				470
ビジュアルコミュニケーション	売上収益	456	635	601	475	2,168	529				2,270	
	セグメント利益	64	127	97	60	348	67				380	
マニファクチャリング関連・ウェアラブル	売上収益	560	572	527	495	2,154	473				1,980	
	セグメント利益	86	94	76	26	283	7				90	
全社費用・その他、調整額	売上収益	-14	-10	-6	-12	-43	-5				-30	
	セグメント利益	-134	-139	-134	-165	-573	-143				-620	
連結合計	売上収益	2,978	3,352	3,612	3,359	13,303	3,148				13,800	
	事業利益	226	268	312	143	951	155				1,000	
連結合計	ROS	7.6%	8.0%	8.6%	4.3%	7.1%	5.0%				7.2%	
研究開発費		109	113	111	109	443	109				520	
設備投資	プリンティングソリューションズ	78	92	106	196	474	67				440	
	ビジュアルコミュニケーション	14	13	11	34	73	12				70	
	マニファクチャリング関連・ウェアラブル	17	30	33	67	149	16				150	
	全社費用・その他	17	17	25	27	87	9				80	
減価償却費	プリンティングソリューションズ	101	104	106	102	413	103				400	
	ビジュアルコミュニケーション	27	26	25	23	102	24				100	
	マニファクチャリング関連・ウェアラブル	23	24	25	25	99	25				100	
	全社費用・その他	18	17	17	17	70	17				70	
営業CF		-123	333	149	253	613	273				1,300	
FCF		-309	186	23	96	-2	63				600	

海外売上収益・従業員数

海外売上収益

為替レート(円)	USD	109.46	110.08	113.71	116.21	129.64	138.30	141.55	132.28	137.18
	EUR	131.91	129.77	130.08	130.45	138.11	139.28	144.23	141.97	149.40

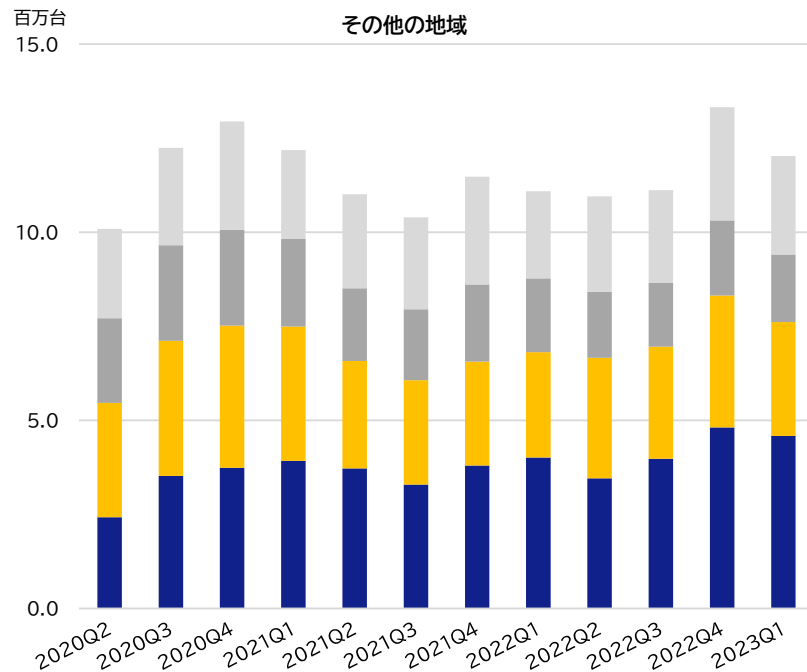
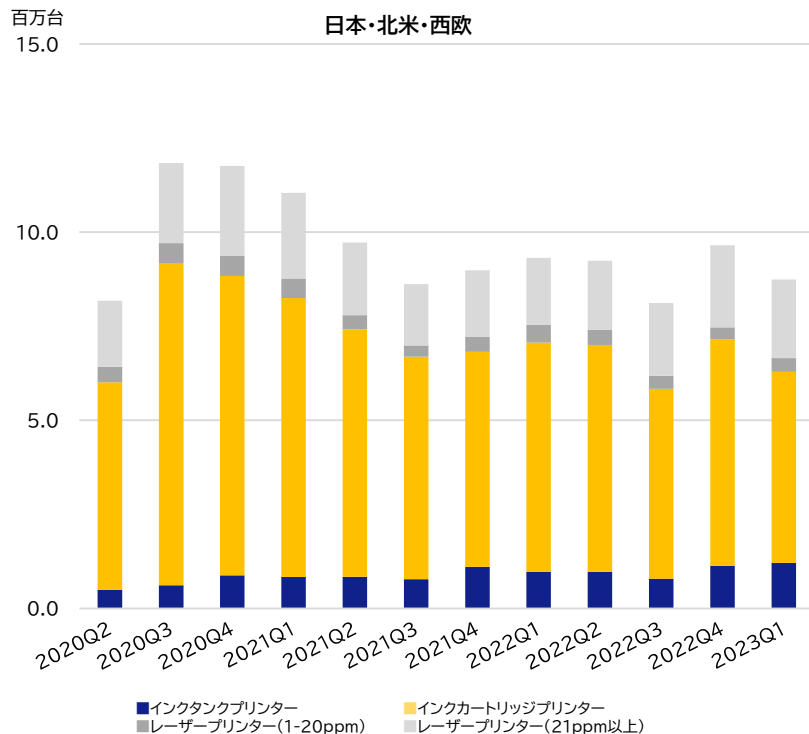
売上収益(億円)	FY21/Q1	FY21/Q2	FY21/Q3	FY21/Q4	FY22/Q1	FY22/Q2	FY22/Q3	FY22/Q4	FY23/Q1	対前年同期
米州	852	801	810	862	1,000	1,115	1,143	1,110	1,069	+68
欧州	583	571	623	617	573	683	785	780	621	+48
アジア・オセアニア	868	789	844	772	884	1,005	1,009	891	928	+44
海外売上収益計	2,304	2,162	2,278	2,252	2,457	2,804	2,938	2,782	2,619	+161
連結合計	2,821	2,684	2,961	2,821	2,978	3,352	3,612	3,359	3,148	+169

構成比	FY21/Q1	FY21/Q2	FY21/Q3	FY21/Q4	FY22/Q1	FY22/Q2	FY22/Q3	FY21/Q4	FY23/Q1
米州	30.2%	29.9%	27.4%	30.6%	33.6%	33.3%	31.6%	33.1%	34.0%
欧州	20.7%	21.3%	21.0%	21.9%	19.2%	20.4%	21.8%	23.2%	19.7%
アジア・オセアニア	30.8%	29.4%	28.5%	27.4%	29.7%	30.0%	27.9%	26.5%	29.5%
海外売上収益計	81.7%	80.6%	76.9%	79.8%	82.5%	83.7%	81.3%	82.8%	83.2%










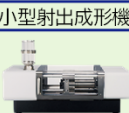





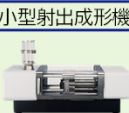
従業員数

期末従業員数(人)	2021/6末	2021/9末	2021/12末	2022/3末	2022/6末	2022/9末	2022/12末	2023/3末	2023/6末	対前年同期
国内	19,827	19,805	19,788	19,705	20,128	20,131	20,174	20,124	20,633	+505
海外	60,813	60,000	59,917	57,937	59,887	62,742	64,308	59,782	57,932	-1,955
連結合計	80,640	79,805	79,705	77,642	80,015	82,873	84,482	79,906	78,565	-1,450

A4サイズプリンターのタイプ別市場推移(暦年)



Source: IDC Worldwide Quarterly Hardcopy Peripherals Tracker 2023Q1
プリンターには複合機を含む。本資料からの転載を禁止します

イノベーション	オフィス・ホーム プリンティング イノベーション	商業・産業 プリンティング イノベーション	ビジュアル イノベーション	マニファクチャリング イノベーション	ライフスタイル イノベーション		
セグメント	プリンティングソリューションズ		ビジュアル コミュニケーション	マニファクチャリング関連・ウェアラブル			
事業 ・ 主要製品	オフィス・ホームプリンティング	商業・産業プリンティング	プロジェクター	マニファクチャリング ソリューションズ	ウェアラブル機器		
	<p>オフィス・ホームIJP</p> <p>SOHO・ホーム</p>  <p>大容量インクタンクモデル インクカートリッジモデル</p> <p>オフィス共有</p>  <p>高速 ラインインクジェット 複合機 (LIIJ)</p> <p>大容量インク パックモデル (RIPS)</p> <p>オフィス向け インクカートリッジ モデル</p> <p>SIDM スキャナー</p> <p>PaperLab</p> <p>レーザープリンター</p>	<p>商業・産業IJP</p> <p>完成品ビジネス</p>  <p>フォト コーポレート</p>  <p>サイネージ ラベルプリンター</p>  <p>テキスタイル ラベル印刷機</p> <p>プリントヘッド外販ビジネス</p>  <p>IJPプリントヘッド、インク</p> <p>小型プリンター他</p>  <p>小型プリンター 小型ラベルプリンター</p>	<p>高光束</p>  <p>超短焦点</p>  <p>スタンダード</p>  <p>ホーム</p>  <p>小型 ライティング</p>  <p>HMD</p> 	<p>ロボット</p>  <p>スカラ</p>  <p>6軸</p>  <p>オプション</p>  <p>小型射出成形機</p> 	<p>Orient Star Orient</p>  <p>ムーブメント</p>  <p>セイコービジネス</p> 	<p>マイクロ デバイス他</p> <p>マイクロデバイス</p>   <p>水晶デバイス</p>  <p>半導体</p>  <p>微細合金粉末</p>  <p>表面処理加工</p> 	<p>PC</p>   <p>エプソンダイレクト PC</p>

I/C	Ink Cartridge, インクカートリッジ
IJP	Inkjet Printer, インクジェットプリンター
LIJ	Line Inkjet Printer, 高速ラインインクジェット複合機
LP	Laser Printer, レーザープリンター(複合機含む)
RIPS	Replaceable Ink Pack System, 大容量インクパックモデル
大容量インクタンクモデル	エコタンク搭載インクジェットプリンター
大容量インクモデル	大容量インクタンクモデル、大容量インクパックモデル(RIPS)、高速ラインインクジェット(LIJ)の総称
SOHO	Small Office Home Office, 小規模オフィス・ホームオフィス
オフィス共有IJP	製品カテゴリーの1つ。高プリントボリュームオフィス向けプリンター。I/Cモデル,RIPS,LIJを含む
商業・産業IJP完成品ビジネス	商業・産業用大判インクジェットプリンター本体・インク・サービスなどを含む
プリントヘッド外販ビジネス	プリントヘッド、インクなどを含む
Epson Connect	エプソンの製品・サービスを対象としたモバイル・クラウドサービス
Color Control Technology	商業・産業印刷における色再現性を高めるカラーマネジメント技術
分散印刷	同一内容の印刷データを複数のプリンターを用いて印刷する方法
SIDM	Serial Impact Dot Matrix Printer
3LCD	プロジェクター方式の1つ。液晶パネル3枚を使う方式
高光束プロジェクター	交換レンズ機能付き高輝度プロジェクター
FPD	Flat Panel Display, フラットパネルディスプレイ
OLED	Organic Light Emitting Diode(有機EL)
WP	ウェアラブル機器事業
MD他	マイクロデバイス他事業

EPSON